

音楽科学習指導案

第2学年 音楽室 指導者 ○○○○○

1 題材名 歌舞伎のよさや美しさを味わおう

教材名 歌舞伎「勸進帳」 三世並木五瓶 作詞／四世杵屋六三郎 作曲

2 考察

(1) 題材観

本題材における学習指導要領上の位置付けは以下のとおりである。

B鑑賞 (1)

ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。

本題材で取り扱う主な音楽を形づくっている要素

音色 旋律 速度

本題材では、日本の伝統芸能である歌舞伎とその伴奏音楽として発展してきた長唄を取り上げ、我が国の伝統音楽である歌舞伎音楽に親しみ、自分なりによさや美しさを味わって聴くことができるようにすることをねらいとしている。

そのために、知覚したことと感受したことを共有する活動や、唄をまねたり、拍子を取ったりする活動を取り入れて音楽の特徴に気付いていくようにしていく。このような活動を通して、知覚や感受を結び付け見いだしたよさや美しさをグループやクラスで共有し、再鑑賞に取り組むことによって、生徒が自分なりに見いだした歌舞伎音楽のよさや美しさを実感し、味わって聴くことができるようにしていく。

本題材で扱う教材は歌舞伎「勸進帳」である。歌舞伎「勸進帳」は天保11年（1840年）3月、能「安宅」を基にして創作され、七代目市川團十郎が演じた作品である。

第1時では、勸進帳冒頭部で演奏される長唄「これやこの」を取り上げる。短いフレーズの中に唄を先導する三味線の伴奏、滑らかな抑揚があり産字を用いた節回し、ヴィブラートを使わない腹から出す声を用いた歌い方などの長唄の特徴を備えている。演奏時間も数分と短く、生徒が繰り返し聴いたり、まねして歌ったりすることを通して、多様な知覚や感受を引き出すことができる。

第2時では、「勸進帳読み上げ」の場面と、「番卒の知らせ～義経詮議」の場面までを取り上げる。歌舞伎の演技の特徴である見得やせりふ回しの妙を味わうことができたり、舞踊を交えた音楽劇としての一面を感じ取ったりすることができる。

第3時では、「判官御手を取り給い」の場面と、「延年の舞」の場面を取り上げる。三味線の独奏と唄方が哀愁を込めて歌い上げる場面と、三味線と囃子方の合奏、長唄が力強い舞踊の伴奏を行う場面とを比較することができ、要素の働きが生み出す雰囲気を感じ取ることができる。

これらのことから、物語の流れに沿って鑑賞していくことで、知覚や感受を深めることができ、歌舞伎のよさや美しさを味わうことができる教材であると考えられる。

(2) 指導方針

- 生徒一人一人が自分なりに日本の伝統音楽の特徴に気づき、主体的に鑑賞に取り組むことができるようにするために、生徒一人一人が知覚したことと感受したことをグループやクラス全体で伝え合い、共有する場面を設定する。
- 多様な知覚や感受を引き出し、日本の伝統音楽である歌舞伎音楽のよさや美しさを見いだすことができるようにするために、体験的な活動を取り入れながら繰り返し鑑賞を行い、知覚した要素と感受した特質や雰囲気との関わりについて考える場面を設定する。

- 生徒一人一人が見いだした日本の伝統音楽のよさや美しさを、実感を持って味わうことができるようにするために、知覚したことと感受したことの共有や体験的な活動などによって見いだしたよさや美しさを基に、日本の伝統音楽のよさや美しさについて自分なりに考えながら再鑑賞を行う場面を設定する。

3 題材の目標

- 我が国の伝統音楽である歌舞伎音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。
- 歌舞伎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりについて考え、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

4 評価規準及び指導計画（全3時間予定）

評価規準	ア 音楽への関心・意欲・態度	① 我が国の伝統音楽である歌舞伎音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。		
	エ 鑑賞の能力	① 歌舞伎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりについて理解して聴いている。 ② 歌舞伎音楽の特徴と物語との関わりを理解しながら、音楽の価値を考え根拠をもって批評するなどして、歌舞伎音楽のよさや美しさを味わって聴いている。		
時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動 (◇評価項目)
		活用させたい知識等	思考力・表現力等	
第1時	つかむ	・日本の伝統音楽に関わる知識。 ・音楽の要素に関わる知識。	・音楽の要素を知覚し、雰囲気や特質を感受する力。	・知覚したことと感受したことの共有や体験的な活動を取り入れて長唄「これやこの」を鑑賞し、歌舞伎音楽に興味を持つ。 ◇アー①
第2時	追求する	・歌舞伎「勸進帳」に関する知識。 ・総合芸術に関する知識。	・知覚したことと感受したことを結び付けて考える力。 ・音楽のよさや美しさについて考える力。	・「勸進帳読み上げ」と「番卒の知らせ～義経詮議」の場面を鑑賞し、長唄の二つの役割について考える。 ◇エー①
第3時	まとめる	・歌舞伎「勸進帳」に関する知識。	・要素や特質を関連付け、よさや美しさを見いだし、味わう力。	・「判官御手を取り給い」と「延年の舞」の場面を鑑賞し、歌舞伎音楽のよさや美しさを味わう。 ◇エー②

5 本時の展開 (1 / 3)

- (1) **ねらい** 拍子を取ったりまねしたりしながら長唄を繰り返し鑑賞する活動を通して、歌舞伎音楽の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。
- (2) **準備** 教科書 ワークシート① 「これやこの」CD 「勸進帳」DVD 大型ディスプレイ 初発の感想ラミネートカード
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援 ◇評価 (方法)
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>○CDで長唄「これやこの」を聴き、ワークシートに初発の感想をメモする。</p> <p>○メモを基に3人組グループで初発の感想を伝え合い交流する。</p> <p>○交流した感想を基に長唄「これやこの」の初発の感想をグループでまとめ、ラミネートシートに書いて黒板に掲示する。</p> <p>・力強く迫力がある音だ。 ・日本風の音楽だった。 ・三味線や太鼓、笛の音がする。</p> <p>○クラス全体で初発の感想を共有し、この授業のめあてを考える。</p>	15分	<p>・「これやこの～おうさかのやまかくす」の部分を再生し、音から感じ取ったことを自由に表現するよう助言する。</p> <p>・初発の感想を3人組グループで共有し、聴き取った要素や感じ取ったイメージをラミネートカードにまとめるよう伝える。</p> <p>・グループでまとめた初発の感想を黒板に集約して掲示し、クラス全体で共有できるようにする。</p> <p>・音楽を形づくっている要素との関係に気付けるよう、似ている感想をまとめて掲示する。</p> <p>・鑑賞した音楽が長唄であり、歌舞伎で用いられる音楽であることを伝える。</p> <p>・一人一人がどのような要素を知覚し、どのような雰囲気を感じたのか伝え合うことにより、音楽を形づくっている要素を手掛かりに、よさや美しさを見いだすための見通しを持てるようにする。</p>
<p>[めあて] 「これやこの」を聴いたりまねしたりして、長唄の特徴を見付けよう。</p>		
<p>2 中心となる音楽活動を行う。</p> <p>○体験的な活動を行いながら、繰り返し長唄「これやこの」を鑑賞する。</p> <p>・詞章(歌詞)を音読する。 ・音色に気を付けて聴く。(音色)</p> <p>・百人一首の蟬丸の句に似ている。 ・合唱とは違う、民謡のような声で歌っていた。 ・三味線の音が伴奏しているようだ。</p> <p>・拍を取りながら聴く。(速度)</p> <p>・拍子を取ってみると拍があって一定の速さで演奏している音楽だった。</p>	27分	<p>・音読やまねをする活動が行いやすいように、拡大した歌詞を黒板に掲示する。</p> <p>・どんな声で歌われているのか、発声の仕方はどうかなどについて気が付けるように、音色に着目することを伝える。</p> <p>・速度の特徴を聴き取るための方法を問い掛ける。生徒から出ない場合は拍子を取ることを提案する。</p> <p>・拍を取りながら聴くことで、三味線の伴奏が一定の速さで演奏されていることや、歌と三味線の伴奏が息を合わせて演奏していることなどに気付けるようにする。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・旋律線を指でなぞりながら聴く。 (旋律) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・民謡に似ていて、音程が滑らかに変化している。 ・伸ばした音の最後が急に低くなる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・CDの範唱に合わせてまねる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・歌ってみると息が続かず、とても長く伸ばして歌っていることが分かった。 ・みんなで一緒に声に出してまねてみるとおもしろかった。 </div> <p>○体験的な活動を通して気付いた長唄の特徴をワークシートにまとめ、3人組グループで交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律線を拡大して提示し、抑揚が激しいことや音を伸ばしながら歌われていることなど、旋律の形から考えられるようにする。 ・合唱の歌い方と比較させながら、滑らかに抑揚が付けられていること、フレーズが長く一息で歌うために深い呼吸が必要であることなどに気付かせる。産字や切字については補足説明を行う。 ・一つ一つのフレーズが長いことや地声で歌う声音などの特徴を感じ取れるように、大きな声でまねるように促す。 ・生徒が安心してまねできるように、教師も一緒に声を出してまねるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動で自分なりに見いだした音楽の要素や特徴を基に、まずは個人でまとめるように促す。 ・自分と同じ考えに共感したり、新しい考えを取り入れたりしながら、グループで特徴をまとめるよう助言する。
<p>3 本時の学習を振り返る。</p> <p>○DVDで映像とともに長唄「これやこの」を鑑賞する。</p> <p>○ワークシートに本時の学習の振り返りを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで歌舞伎の音楽について全く知らなかったけれど、音楽の要素からたくさんの特徴に気付くことができた。 ・歌舞伎の音楽にはどんなものがあるのか、いろいろ聴いてみたいと思った。 </div>	<p>8 分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台の様子や冒頭の場面であることなどの説明を行い、歌舞伎「勧進帳」に興味を持てるようにする。 ・見いだした特徴を基に、歌舞伎のよさや美しさについて考えていくことを伝え、次時への見通しを持たせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇【音楽への関心・意欲・態度】</p> <p>我が国の伝統音楽である歌舞伎音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。(ワークシート・発表・観察)</p> </div>

音楽鑑賞ワークシート① 2年 組 番 氏名

※初発の感想

めあて 月 日 ()

--

☆要素に着目しながら特徴を感じ取ろう。

1) 「 」の特徴を感じ取ろう。	
メモ	グループの意見
2) 「 」の特徴を感じ取ろう。	
メモ	グループの意見
3) 「 」の特徴を感じ取ろう。	
メモ	グループの意見
4) 「 」の特徴を感じ取ろう。	
メモ	グループの意見

※メモや話し合ったことを基に、「長唄の特徴」をまとめてみよう。

--

※振り返り

--

5 本時の展開 (2 / 3)

- (1) **ねらい** 勸進帳の二つの場面を鑑賞し、長唄の特徴についてグループで話し合う活動を通して、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりについて理解して聴く。
- (2) **準備** 教科書 台本プリント ワークシート② DVD教材 大型ディスプレイ
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援 ◇評価 (方法)
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>○勸進帳冒頭部をDVDで視聴し、長唄が用いられることで場面の雰囲気が変わることを感じ取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・初めは演劇みたいだと思ったけれど、三味線の伴奏が入るとオペラみたいに歌っているという感じがした。</p> </div>	10分	<p>・前回の学習を振り返り、歌舞伎音楽のよさや美しさについて考えるために勸進帳を鑑賞することを伝える。</p> <p>・台本プリントとワークシート②を配布し、聴き取る言葉が分かりやすくなるように富樫の入りのせりふを音読してから、勸進帳冒頭部を鑑賞する。</p> <p>・三味線の伴奏がある部分とない部分があることに着目させ、長唄が入ることで雰囲気が変化することを感じ取ることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【めあて】 歌舞伎の音楽・長唄の役割について考えながら鑑賞しよう。</p> </div>
<p>2 中心となる音楽活動を行う。</p> <p>○「勸進帳読み上げ」の場面をDVDで視聴し、知覚した要素と感受した雰囲気をグループで交流する。</p> <p>○「番卒の知らせ～義経詮議」の場面をDVDで視聴し、知覚した要素と感受した雰囲気をグループで交流する。</p> <p>○3人組グループで話し合いながら知覚したことと感受したことを共有し、結び付けて考える。</p>	25分	<p>・長唄の特徴を感じ取れるように、心情や風景の描写、舞踊の伴奏という二つの役割を比較しやすい場面を、映像を伴いながら鑑賞する。</p> <p>・机間支援を行い、感じ取った雰囲気がどのような音の要素から形づくられているのか、聴き取った要素が作り出している雰囲気は何かなどについて問い掛け、知覚と感受を結び付けられるよう促す。</p> <p>・3人組グループで机を向き合わせることで、短時間で共有が行えるようにする。</p>
<p>3 本時の学習を振り返る。</p> <p>○長唄の役割について考えながら再鑑賞に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・長唄には、言葉に出せない気持ちや場面の様子を歌にして表現する役割があった。</p> <p>・歌と三味線と太鼓が一定の速さで演奏して、踊りの伴奏をしていた。</p> </div> <p>○ワークシートに本時の学習の振り返りを書く。</p>	15分	<p>・長唄が表現している心情や、伴奏している舞踊に着目させ、役割を意識しながら鑑賞に取り組むようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇【鑑賞の能力】</p> <p>歌舞伎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりについて理解して聴いている。 (ワークシート・発表・観察)</p> </div> <p>・本時の学習を振り返り、長唄の二つの役割に着目しながら鑑賞した感想をまとめるように促す。</p>

歌… () 長唄の役割 →

①

舞… () 日本舞踊

②

伎… () 登場人物の動きやせりふ

めあて 月 日 ()

--

※登場人物の心情や場面の様子を作り出している音楽の要素を聴き取り、雰囲気を感じ取ろう。

勸進帳読み上げ	
感じ取ったイメージや雰囲気 例) 緊張した感じ	聴き取った要素 例) 速いテンポ (速度) (音色・旋律・その他も可)
番卒の知らせ～義経詮議	
感じ取ったイメージや雰囲気	聴き取った要素

※振り返り

--

5 本時の展開 (3 / 3)

- (1) **ねらい** 歌舞伎音楽のよさや美しさを考え、根拠をもって批評し、グループやクラス全体で共有する活動を通して、歌舞伎音楽の特徴と物語との関わりを理解し、見いだした歌舞伎音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- (2) **準備** 教科書 台本プリント ワークシート③ 「勸進帳」DVD 大型ディスプレイ
よさや美しさラミネートカード
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援 ◇評価 (方法)
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>○前時までの学習を振り返り、本時のめあてを考える。</p> <p>・長唄は様子や気持ちを表すために、どんな工夫をしているのかな。</p> <p>・どんな踊りの伴奏をしているのかな。</p>	5分	<p>・長唄の役割と知覚した要素や感受した雰囲気を選び付け、自分なりの言葉で歌舞伎音楽のよさや美しさを考えることを伝える。</p> <p>・物語と関連付けて鑑賞できるように、台本プリントを使い、あらすじについて説明する。</p>
<p>【めあて】 歌舞伎音楽のよさや美しさを見だし、味わいながら鑑賞しよう。</p>		
<p>2 中心となる音楽活動を行う。</p> <p>○「判官御手を取り給い」の場面と「延年の舞」の場面を鑑賞し、長唄のよさや美しさについて考える。</p> <p>○個人で歌舞伎音楽のよさや美しさについてワークシートにまとめる。</p> <p>○3人組グループでよさや美しさを共有し、ラミネートカードにまとめ、黒板に掲示してクラス全体で共有する。</p> <p>・歌舞伎のよさは、音楽が入ることで登場人物の気持ちが分かったり、緊張感が感じられたりすることだ。</p> <p>・三味線の音と長唄の声が組み合わさることで、勸進帳の物語が分かりやすくなっていてすごいと思った。</p>	30分	<p>・よさや美しさを考える手掛かりとなるように、台本プリントにメモを書きながら聴くように促す。</p> <p>・三味線方の独奏と唄方が歌い上げる場面と、長唄が舞踊の伴奏を行う場面とを比較し、要素の働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら、歌舞伎のよさや美しさについて考えるようにする。</p> <p>・再鑑賞する際に参考になるように、黒板に掲示された他のグループのラミネートカードを読み、自分の意見と比較し、考えを深めるように助言する。</p> <p>◇【鑑賞の能力】 歌舞伎音楽の特徴と物語との関わりを理解しながら、音楽の価値を考え根拠をもって批評するなどして、歌舞伎音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(ワークシート・発表・観察)</p>
<p>3 本時の学習を振り返る</p> <p>○再鑑賞に取り組み、よさや美しさを味わう。</p> <p>○ワークシートに本時の振り返りを書く。</p> <p>・日本独自の世界観が表されていて、三味線や笛、太鼓や人の声により「歌舞伎音楽」ができていたことが分かった。授業を通して、初めて歌舞伎を見に行ってみたいと思った。</p>	15分	<p>・二つの場面を通して鑑賞し、自分が見いだしたよさや美しさを確かめるよう促す。</p> <p>・本題材で学習した内容を、音楽を形づくっている要素の働きや、生活や文化などと関連付けて振り返るよう促す。</p>

めあて 月 日 ()

--

☆歌舞伎『勸進帳』の音楽のよさや美しさを特徴を基にまとめよう。(15分)

・個人で書く(5分) → グループで発表し合う(3分) → 意見をまとめる(7分)

歌舞伎の音楽のよさや美しさ	グループの意見

★よさや美しさを確かめながら、二つの場面を鑑賞した感想を書こう。

----- ----- -----

※振り返り

----- -----
